

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-510290(P2005-510290A)

【公表日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2003-546774(P2003-546774)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月6日(2005.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータがユーザに、叢生／間隔データを第1テーブルに入力することを促すステップであって、該第1テーブルに入力される該叢生／間隔データが、患者の顎の犬歯から正中線領域にのみ関連するものであるステップと、

該コンピュータがユーザに、叢生／間隔データを第2テーブルに入力することを促すステップであって、該第2テーブルに入力される該叢生／間隔データが、該患者の顎の第2大臼歯から正中線領域に関連し、該患者の顎の該犬歯から正中線領域に関連する該叢生／間隔データを含むものであるステップと、

該コンピュータがユーザに、正中線と大臼歯との関係を正中線チャートに入力することを促すステップと、

該コンピュータが、第1及び第2テーブルに入力された叢生／間隔データを記録するステップと、

該コンピュータが、正中線チャートに入力された正中線と大臼歯との関係を記録するステップと、

を含む、歯列矯正に関連するコンピュータによって実施される方法。

【請求項2】

該コンピュータが、該第1および第2テーブルに記入された該叢生／間隔データ、並びに該正中線チャートに入力された正中線と大臼歯との関係に基づいて歯列矯正治療を計画するステップと、

該コンピュータが、前記計画された歯列矯正治療に関連するデータを予測治療チャートに追加するステップと、

該コンピュータが、予測治療チャートに関連するデータを記録するステップと、
 をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

該コンピュータが、前記第1テーブルの前記叢生／間隔データを合計することにより第1総計をもたらし、該第1総計を第1初期不調和として該第1テーブルに挿入するステップと、

該コンピュータが、前記第2テーブルの前記叢生／間隔データを合計することにより第2総計をもたらし、該第2総計を第2初期不調和として該第2テーブルに挿入するステッ

と、

該コンピュータがユーザに、該第1および第2テーブルに他の生成された空間を入力することを促すステップと、

該コンピュータが、該第1合計と該他の生成された空間とを合計することにより第3総計をもたらし、該第3総計を第1残存不調和として該第1テーブルに挿入するステップと、

該コンピュータが、該第2合計と該他の生成された空間とを合計することにより第4総計をもたらし、該第4総計を第2残存不調和として該第2テーブルに挿入するステップと、

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

該コンピュータが、前記テーブルおよびチャートを表示することをさらに含む、請求項1、2又は3に記載の方法。